

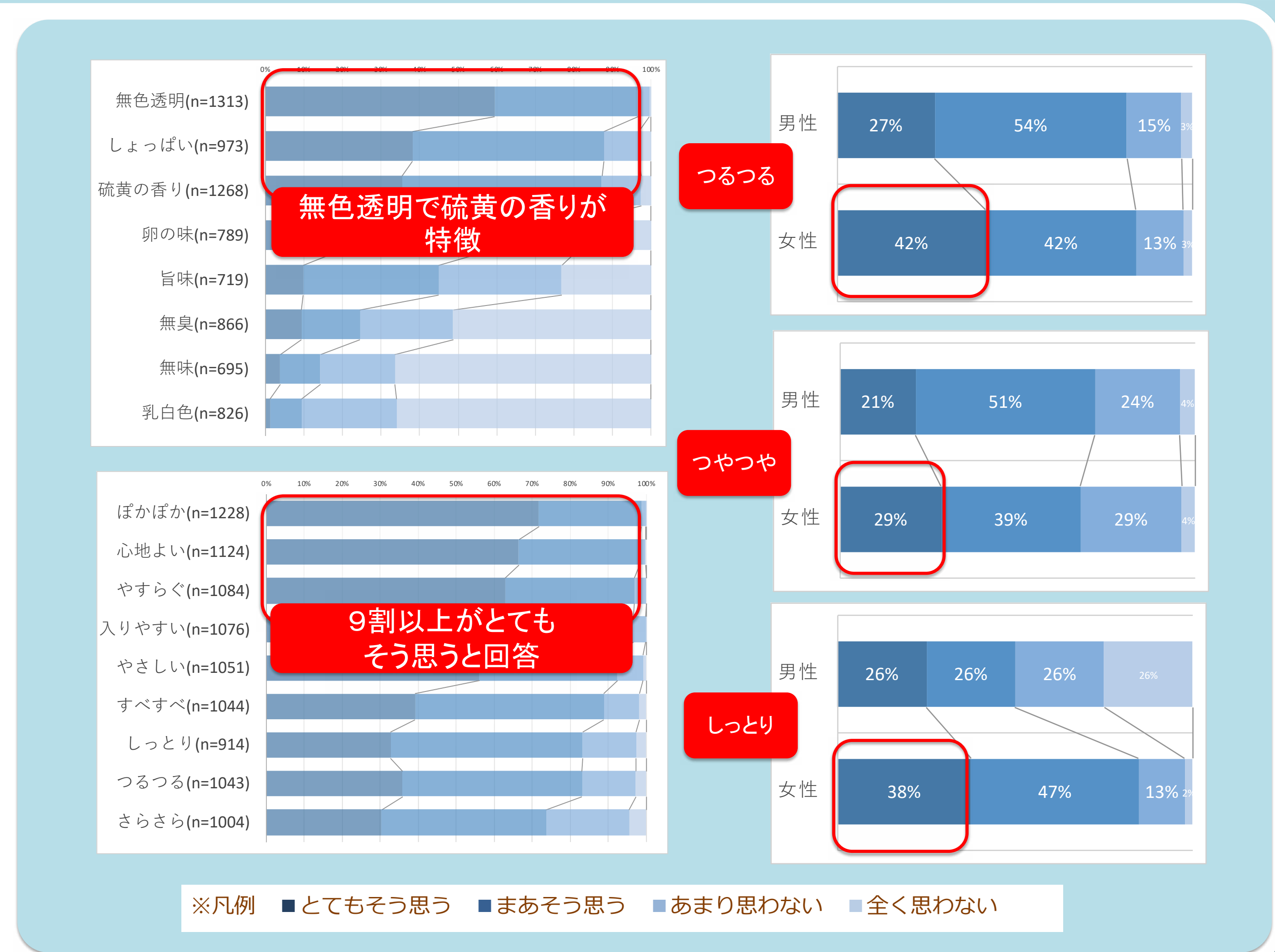
小野川温泉の「お湯がいい」という口コミを検証！

- お客さまから「お湯がいいね」「あたたまるね」というお声を多くいただきます。その秘密を山形大学の皆さんにご協力いただき分析をしました
- その結果、小野川温泉の泉質はバランスの良い成分で安定しており、温まる成分や皮膚を保護する成分が多く含まれていることがわかりました

入浴客^(※)の9割以上が「ぽかぽか」「心地よさ」「安らぎ」を実感 多くの女性が入浴後の肌に好印象をもっています

- 入浴後の印象について、9割以上の方が「ぽかぽか」「心地よさ」「安らぎ」を感じていました
- 小野川のお湯の特徴として「無色透明」「硫黄のかおり（硫化水素臭）」「しょっぱい（塩辛い）」があげられました
- 「すべすべ」「しっとり」「つるつる」といった肌への感覚も良い印象がもたれています。特に女性の方が入浴後の肌に好印象をもっていることがわかりました

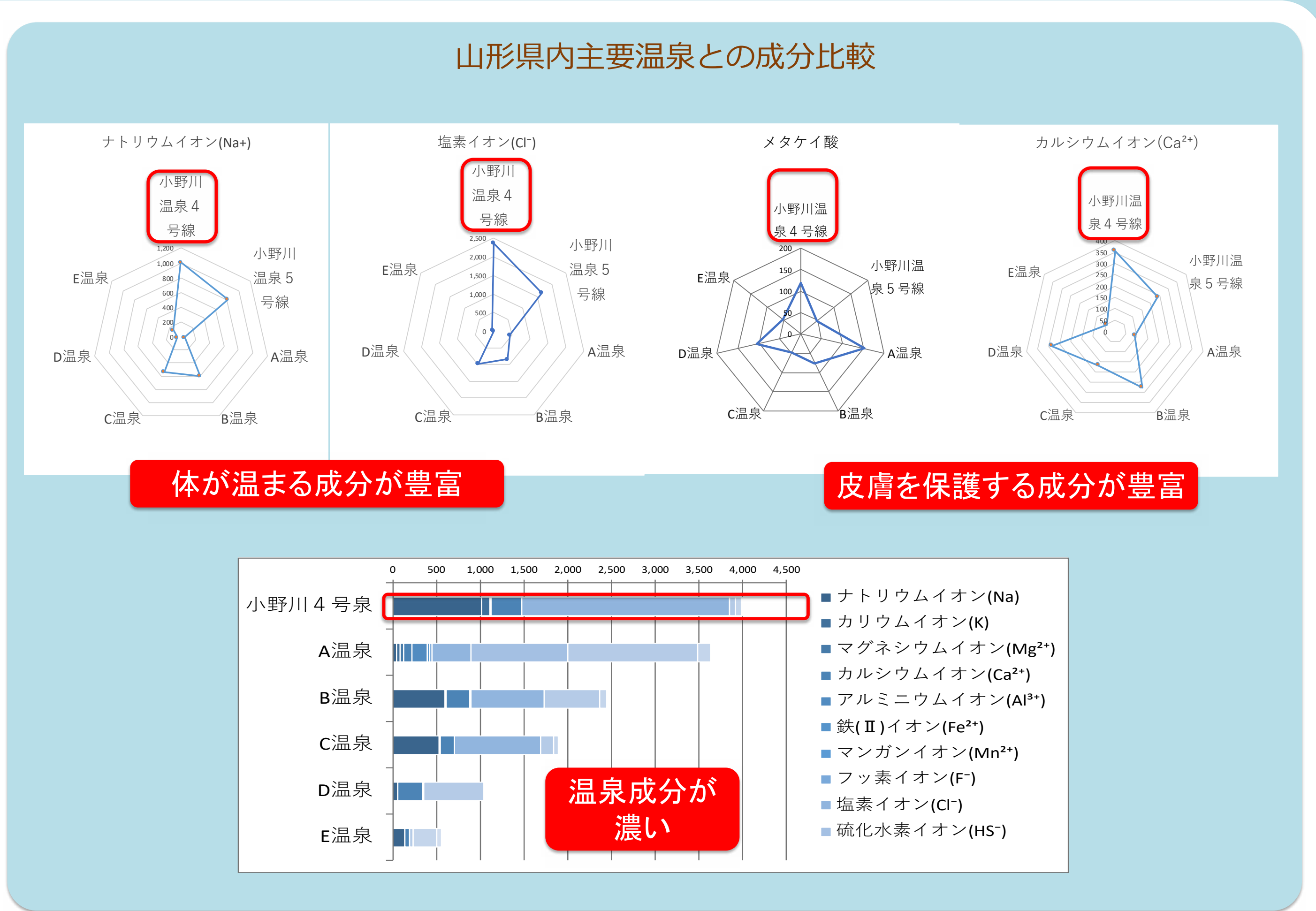
※2017年から4期に渡り延1383名の方に調査票調査をした結果に基づいています。



バランスの良い安定した泉質

- 特定の成分について定期的に（1年間毎月1回）山形大学にて分析を実施しました⁽¹⁾。その結果成分量に大きな変動はみられず、泉質が安定していることがわかりました。
- 山形県内の主要温泉と成分を比較すると、ナトリウムイオン、塩素イオン量、カルシウムイオン量が多く、温泉成分の総量である溶存物質の量も最も多いことがわかりました。またメタケイ酸や総硫黄量も多く検出されています。さらにリチウムイオン⁽²⁾が温泉基準値の3.5倍の数値で安定して検出されることがわかりました

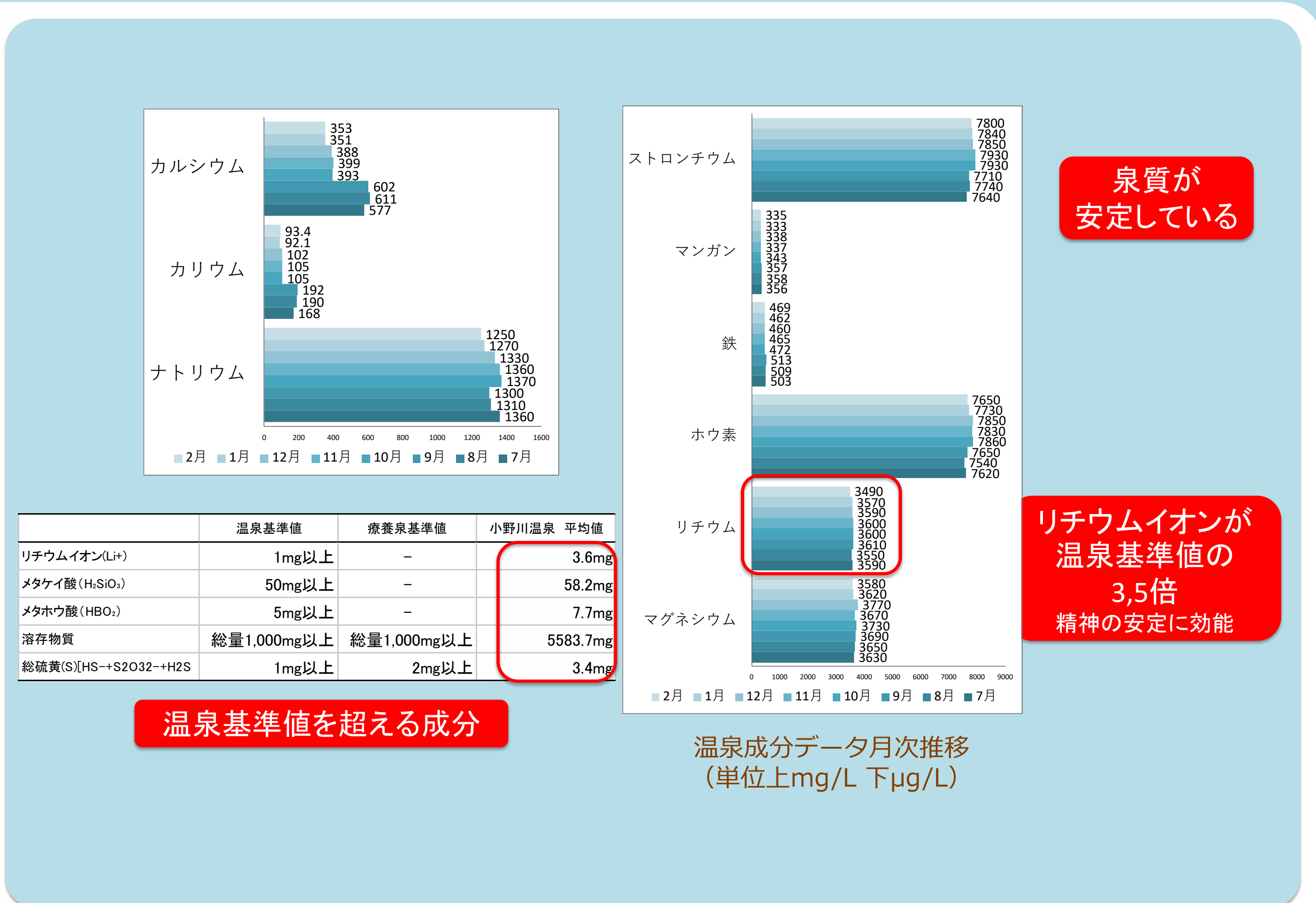
(1) 2017年5月～2018年4月に1回定期的にサンプルを採取。独自で入手したサンプルに関しては、ナトリウムイオン（Na⁺）、カリウムイオン（K⁺）など18種類のイオンをICP-MS（Perkin-Elmer：ELAN DRC II）および液体クロマトグラフィ（JEOL：JSM-T100LC）を用いて計測。
(2) リチウムイオンは含有量により常水と鉱泉とを区別するための物質の一つではあるものの、療養泉として定義される特殊成分には該当しないためデータをとっている温泉地は少ない。



泉質の良さを実感できる温泉

- 小野川温泉の湯に豊富に含まれるリチウムイオンは生体リズムを変化させる作用があるとされ⁽²⁾精神の安定に効能があると期待されています→「心地よさ」「安らぎ」を感じる人が多い
- メタケイ酸は、カルシウムイオンとの相乗作用で角化促進作用がみられ皮膚の保護作用があり、硫黄は皮膚炎への効能に期待が持たれています⁽³⁾→「すべすべ」「しっとり」「つるつる」を実感
- また全国各地の美人の湯・美肌の湯とされる温泉は、タンパク質を溶かす性質があるアルカリ性が主流であるのにたいし、小野川温泉は中性です。

(2) 鈴木継美, & 和田攻. ミネラル・微量元素の栄養学, 364, 1994.(3) 鏡森定信. (2006). 泉質別にみた温泉の効果. 日本温泉気候物理医学会雑誌, 69(4), 223-233.



あたたまりの湯 肌に優しい癒しの湯

- 小野川温泉の泉質は、温泉成分が濃く、保温や生体リズムの安定化、皮膚への効能に期待することができる成分を安定的に保っているという特長があると考えられます。



リラックス
したいとき



あたたまり
たいとき



子ども
一緒に



美肌効果
を期待して